

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和08年01月29日

計画の名称	周南市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	令和08年度～令和12年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	周南市												
計画の目標	宅地耐震化を進め、災害時の被害を軽減するため、地震発生時に大きな被害が発生する可能性がある大規模盛土造成地の所在・規模等を調査・公表する。 さらに、安全性の把握を進めることで、災害リスクに対する市民の理解を深め滑動崩落による被害の未然防止を促進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	96	A	96	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	優先度評価を実施した大規模盛土造成地のうち、危険性の検証を行い、検証結果を宅地所有者に情報提供する盛土を0箇所（R8）から8箇所（R12）に増加（第二次スクリーニング） 大規模盛土造成地8箇所第二次スクリーニングを実施し、安全性等の公表率を100%とする （公表箇所 / 大規模盛土造成地の箇所）	R8		R12
		0箇所	箇所	8箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R08	R09	R10	R11	R12			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	周南市	直接	周南市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング 8箇 所	周南市						96	-	
												小計						96	
											合計						96		

事前評価チェックシート

計画の名称： 周南市宅地耐震化推進事業（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画（周南市国土強靱化計画）との整合が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標は、地震等により甚大な被害を生ずるおそれのある大規模盛土造成地の耐震化を進めるものであり、地域の課題に適切に対応するものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 定量的指数がわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 業務内容は、計画の目標を達成する有効な手段となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 計画の規模が適切であり事業実施により十分な効果が発揮される。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	
III. 計画の実現可能性 1) 計画について地元等と合意形成が図られている。	○